

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公表番号】特表 2002-514180 (P2002-514180A)

【公表日】平成 14 年 5 月 14 日 (2002.5.14)

【出願番号】特願 平 10-512818

【国際特許分類第 7 版】

C 07 C 311/19

A 61 K 31/343

A 61 K 31/381

A 61 K 31/397

A 61 K 31/4025

A 61 K 31/404

A 61 K 31/443

A 61 K 31/496

A 61 K 31/5377

A 61 P 9/04

A 61 P 9/10

A 61 P 17/02

A 61 P 19/02

A 61 P 27/02

A 61 P 29/00

A 61 P 35/00

A 61 P 43/00

C 07 D 209/88

C 07 D 307/91

C 07 D 333/76

C 07 D 405/12

C 07 D 407/12

【F I】

C 07 C 311/19

A 61 K 31/343

A 61 K 31/381

A 61 K 31/397

A 61 K 31/4025

A 61 K 31/404

A 61 K 31/443

A 61 K 31/496

A 61 K 31/5377

A 61 P 9/04

A 61 P 9/10

A 61 P 9/10 1 0 1

A 61 P 17/02

A 61 P 19/02

A 61 P 27/02

A 61 P 29/00

A 61 P 35/00

A 61 P 43/00 1 1 1

C 07 D 209/88

C 0 7 D 307/91

C 0 7 D 333/76

C 0 7 D 405/12

C 0 7 D 407/12

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 8 月19日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第512818号

2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国ニュージャージー州 07950. モーリス
プレインズ. テイバーロード201

名 称 ワーナー・ランバート・コンパニー

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル)

電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高 木 千 嘉



(外1名)

4. 補正命令の日付 (自発)

5. 補正対象書類名

請 求 の 範 囲

6. 補正対象項目名

請 求 の 範 囲

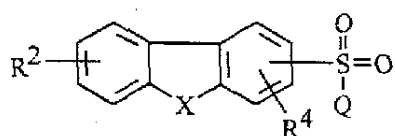
7. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. 式 I



I

(式中、Qは、非天然のアミノ酸であり、

XはO、S、S(O)_n、CH₂、COまたはNR³³であり、

R³³は水素、C₁~C₆アルキルまたはC₁~C₆アルキルフェニルであり、

R²およびR⁴は独立して水素、C₁~C₅アルキル、フェニル、-NO₂、ハロゲン、-OR⁵、-CN、-CO₂R⁵、-SO₃R⁵、-CHO、-COR⁵、-CONR⁵R⁶、-(CH₂)_nNR⁵R⁶、-CF₃または-NHCOR⁵であり、

R⁵およびR⁶はそれぞれ独立して水素またはC₁~C₅アルキルであり、そして

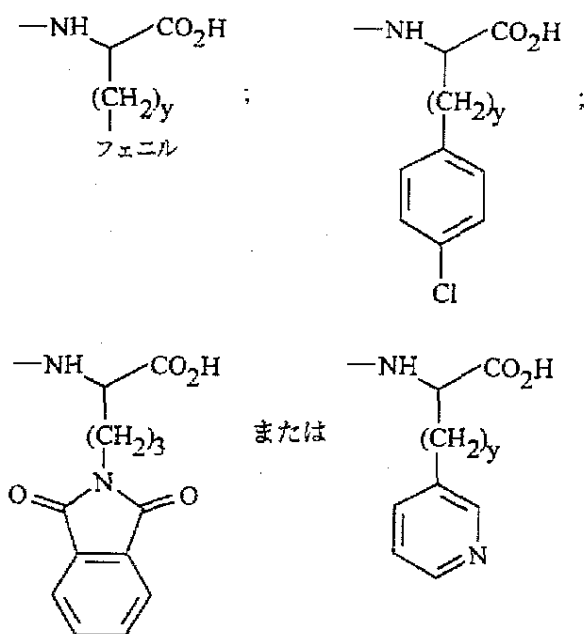
nは0~2である)

の化合物およびその製薬上許容される塩、エステル、アミドおよびプロドラッグ。

2. XがO、S、CH₂、NR³³、COまたはS(O)_nである請求項1に記載の化合物。

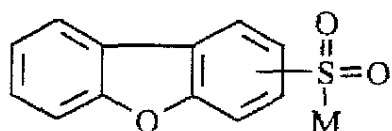
3. R²およびR⁴が水素である請求項1記載の化合物。

4. Qが



であり、そして、Yが2～5である、
請求項1に記載の化合物。

5. 式 II



II

(式中、Mは非天然のアミノ酸である)

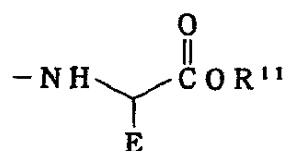
の化合物およびその製薬上許容される塩、エステル、アミドおよびプロ
ドラッグ。

6. Mが、D-グリシン、D-アラニン、D-バリン、D-ロイシン、D-イソロイシン、D-フェニルアラニン、D-プロリン、D-セリン、D-スレオニン、D-チロシン、D-アスパラギン、D-グルタミン、D-リジン、D-アルギニン、D-トリプトファン、D-ヒスチジン、D-システイン、D-メチオニン、D-アスパラギン酸またはD-グルタミン酸である請求項5に記載の化合物。

7. 請求項 1 に記載の化合物を含む、マトリックスメタロプロテイナーゼ阻害剤。

8. 多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症プラーク破壊、再狭窄、大動脈瘤、心不全、歯周疾患、角膜潰瘍化、火傷、褥瘡、慢性潰瘍若しくは外傷、癌転移、腫瘍の血管形成、関節炎、または白血球の組織侵入による自己免疫疾患若しくは炎症性疾患を治療するために用いられる請求項 7 に記載のマトリックスメタロプロテイナーゼ阻害剤。

9. Q が、



であり、

E が、 $-(\text{CH}_2)_n-\text{NH}-\text{Z}-\text{R}^{10}$ 、

$-(\text{CH}_2)_n-\text{S}-\text{C}(\text{フェニル})_3$ 、

$-(\text{CH}_2)_n-\text{O}-(\text{CH}_2)_L-\text{フェニル}$ 、

$-(\text{CH}_2)_n-\text{O}-\text{C}_1\sim\text{C}_6\text{アルキル}$ 、

$-(\text{CH}_2)_n-\text{アリール}$ 、

$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -(\text{CH}_2)_n\text{CR}^{10} \end{array}$ 、

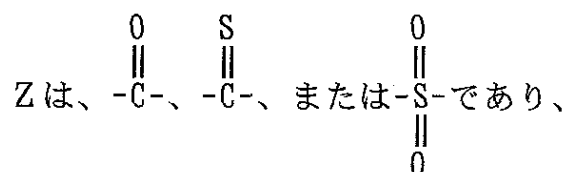
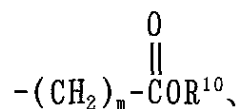
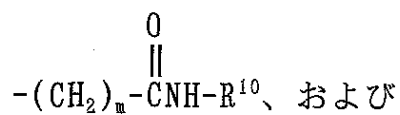
$-(\text{CH}_2)_n\text{NHSO}_2-\text{アリール}$ 、

$\text{C}_1\sim\text{C}_6\text{アルキル}$ 、

フェニル、

$-(\text{CH}_2)_n-\text{シクロアルキル}$ 、

$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -(\text{CH}_2)_n\text{C} \end{array}\text{アリール}$ 、



m が、1～6 であり、

L が、1～6 であり、

R¹⁰ が、 $-\text{O}(\text{CH}_2)_n$ －アリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n$ －S－アリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n$ －S－ヘテロアリール、

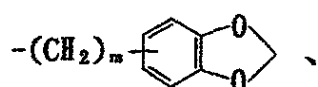
$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n$ －O－アリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n$ －O－ヘテロアリール、

$-(\text{CR}^{11}\text{R}^{12})_n$ －アリール、

$-(\text{CH}_2)_m$ －C₂～C₈シクロアルケニル、

$-(\text{CH}_2)_m$ －ヘテロアリール、

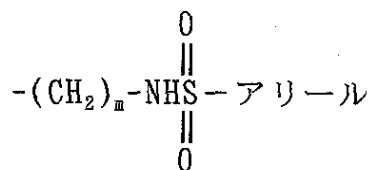


$-\text{NH}-\text{C}_2\sim\text{C}_8$ シクロアルキル、

$-(\text{CH}_2)_m\text{NH}$ －アリール、

$-\text{NH}-\text{C}_1\sim\text{C}_6$ アルケニル、

$-\text{NH}$ －アダマンチル



$-\text{C}_2\sim\text{C}_8$ シクロアルキル、

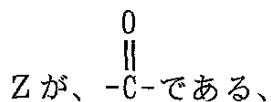
$-(\text{CH}_2)_m-\text{C}(\text{フェニル})_3$ 、

-NH-アリール、
 -NH(CH₂)_n-アリール、
 -(CH₂)_nNR¹¹R¹²、
 -NH-ヘテロアリール、
 -NH-CH(フェニル)₂
 -C₁~C₆アルケニル-フェニル、
 -シクロアルキル-フェニル、
 -CH-フェニル
 |
 シクロアルキル、
 -OC₁~C₆アルキル、
 C₁~C₆アルキル、
 O-アダマンチル、
 O-C₁~C₆アルケニル、
 アリール、
 ヘテロアリール、または
 -(CH₂)_n-CH(フェニル)₂であり、または

R¹¹ および R¹² は、それぞれ独立して水素または C₁~C₆ アルキルである、
 請求項 1 に記載の化合物。

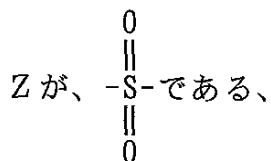
10. R¹¹ が水素である請求項 9 に記載の化合物。

11. E が、-(CH₂)_n-NH-Z-R¹⁰ であり、そして



請求項 9 に記載の化合物。

12. E が、-(CH₂)_n-NH-Z-R¹⁰ であり、そして



請求項 9 に記載の化合物。

13. R^{11} が、水素であり、

X が、O であり、

R^2 および R^4 が、水素であり、

E が、 $-(CH_2)_n-NH-Z-R^{10}$ であり、そして

Z が、 $\begin{array}{c} O \\ || \\ -C- \end{array}$ である、

請求項 9 に記載の化合物。

14. R^{10} が、 $-O(CH_2)_n$ -フェニル、

$-(CH_2)_n$ -フェニル、

$-(CH_2)_n$ -ヘテロアリール、

$-(CH_2)_n$ -O-フェニル、

$-(CH_2)_n$ -O-ヘテロアリール、または

$-(CH_2)_n$ -ナフチルである、

請求項 13 に記載の化合物。

15. R^{10} が、フェニル、ヘテロアリール、ナフチルまたは $C_2 \sim C_6$ アルケニル-フェニルである請求項 12 に記載の化合物。

16. Z が、

$\begin{array}{c} S \\ || \\ -C- \end{array}$ 、または $\begin{array}{c} O \\ || \\ -C- \end{array}$ である請求項 9 に記載の化合物。

17. R^{10} が、 $-NH$ -ヘテロアリール、

$-NH-(CH_2)_n$ -フェニル、

$-NH-(CH_2)_n$ -ナフチル、

$-NH$ -アダマンチル、または

$-NH-C_2 \sim C_6$ アルケニルである、

請求項 16 に記載の化合物。

18. E が、

$\begin{array}{c} O \\ || \\ -(CH_2)_n-CNHR^{10} \end{array}$ であり、

R^{11} が水素であり、

X が O であり、そして

R^2 および R^4 が水素である、

請求項 9 に記載の化合物。

19. R^{10} が、 $-(CH_2)_m-$ ヘテロアリール、

$C_1 \sim C_6$ アルキル、

フェニル、

$-(CH_2)_n-NH(C_1 \sim C_6 \text{ アルキル})$ 、

$-(CH_2)_n-N(C_1 \sim C_6 \text{ アルキル})_2$ 、または

$-(CH_2)_m-$ フェニルである、

請求項 18 に記載の化合物。

20. 化合物；

(S)-3-[(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -メチル]
-5-メチル-ヘキサン酸、

(S)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -4-フェニ
ル-酪酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -5-フェニル-ペ
ンタン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6-フェニル-ヘ
キサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -7-フェニル-ヘ
プタン酸、

4-(4-クロロフェニル) -2-(ジベンゾフラン-2-スルホ
ニルアミノ) -酪酸、

5-(4-クロロフェニル) -2-(ジベンゾフラン-2-スルホ
ニルアミノ) -ペンタン酸、

6 - (4 - クロロフェニル) - 2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

7 - (4 - クロロフェニル) - 2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - ヘプタン酸、

8 - (4 - クロロフェニル) - 2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - オクタン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 4 - (1,3 - ジオキソ - 1,3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 5 - (1,3 - ジオキソ - 1,3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - ペンタン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 4 - (1,3 - ジオキソ - 1,3 - ジヒドロ - ベンゾ[f]イソインドール - 2 - イル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 5 - (1,3 - ジオキソ - 1,3 - ジヒドロ - ベンゾ[f]イソインドール - 2 - イル) - ペンタン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 4 - (1 - オキソ - 1,3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 5 - (1 - オキソ - 1,3 - ジヒドロ - イソインドール - 2 - イル) - ペンタン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 5 - (4 - プロピルフェニル) - ペンタン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 4 - ピリジン - 3 - イル - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 5 - ピリジン - 3 - イル - ペンタン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - コハク酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - ペンタン二酸、

- 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン二酸、
- 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -コハク酸 4-メチルエステル、
- 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ペンタン二酸 5-メチルエステル、
- 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン二酸 6-メチルエステル、
- 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -3 - (4-ヒドロキシフェニルスルファニル) -プロピオン酸、
- 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ペント-4-エン酸、
- 2 - [(ジベンゾフラン-2-スルホニル) -メチル-アミノ] -5-フェニル-ペンタン酸、
- 5 - (4-クロロフェニル) -2 - [(ジベンゾフラン-2-スルホニル) -メチル-アミノ] -ペンタン酸、
- 2 - [(ジベンゾフラン-2-スルホニル) -メチル-アミノ] -5-(1,3-ジオキソ-1, 3-ジヒドロ-イソインドール-2-イル) -ペンタン酸、
- 2 - [(ジベンゾフラン-2-スルホニル) -フェネチル-アミノ] -5-フェニル-ペンタン酸、
- 2 - [(ジベンゾフラン-2-スルホニル) -ピリジン-3-イル-メチル-アミノ] -5-フェニル-ペンタン酸、
- 5 - (4-クロロフェニル) -2 - [(ジベンゾフラン-2-スルホニル) -イソブチル-アミノ] -ペンタン酸、
- 2 - [ベンジル- (ジベンゾフラン-2-スルホニル) -アミノ] -5 - (4-エチルフェニル) -ペンタン酸、

2-[(ジベンゾフラン-2-スルホニル)-(2-フェノキシエチル)-アミノ]-ペント-4-エン酸、

6-[2-(4-クロロフェノキシ)-2-メチルプロピオニルアミノ]-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(ピリジン-4-イルスルファニル)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(2,4-ジクロロフェノキシ)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(2-トリフルオロメチルフェニル)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-チオフエン-2-イル-アセチルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-フェノキシブチルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(フェニルスルファニル-アセチルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(2-フェノキシ-アセチルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[2-(3,4-ジメトキシフェニル)-アセチルアミノ]-ヘキサン酸、

6-[2-(4-tert-ブチルフェノキシ)-アセチルアミノ]-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[3-(3,4-ジメトキシフェニル)-プロピオニルアミノ]-ヘキサン酸、

6-(2-(シクロペント-1-エニル-アセチルアミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [2 - (4-メトキシ-フェノキシ) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [2 - (ナフトレン-1-イルオキシ) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [2 - (4-ニトロ-フェノキシ) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

6 - [4 - (4-クロロ-3-メチル-フェノキシ) - ブチリルアミノ] - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [3 - (4-メトキシ-フェニル) - プロピオニルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-ピリジン-3-イル-アセチルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - (2-ベンゾ [1,3] ジオキソール-5-イル-アセチルアミノ) - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-ピリジン-2-イル-アセチルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [4 - (4-ニトロ-フェニル) - ブチリルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (3-ピリジン-4-イル-プロピオニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-フェニルアミノ-アセチルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-インドール-1-イル-アセチルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [3 - (2-メトキシ-フェニル) - プロピオニルアミノ] - ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (4-フェニル-ブチリルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (3-p-トリル-プロピオニルアミノ) -ヘキサン酸、

6- [3- (4-クロロ-フェニル) -プロピオニルアミノ] -2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

6- [2- (2-ベンジルオキシ-フェニル) -アセチルアミノ] -2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- [2-ナフタレン-2-イル-アセチルアミノ] -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (4-1H-インドール-3-イル-ブチリルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (2-ナフタレン-1-イル-アセチルアミノ) -ヘキサン酸、

6- [3- (4-クロロ-フェノキシ) -プロピオニルアミノ] -2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (6-フェニル-ヘキサノイルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (4-チオフェン-2-イル-ブチリルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (3,3,3-トリフェニル-プロピオニルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (3-ジエチルアミノ-プロピオニルアミノ) -ヘキサン酸、

2- (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) -6- (1-フェニル-シクロプロパンカルボニルアミノ) -ヘキサン酸、

6-(3-ベンゾ[1,3]ジオキサール-5-イル-プロピオニル
アミノ)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン
酸、

6-[(シクロペンチル-フェニル-アセチル)-アミノ]-2-(ジ
ベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[3-(4-
メトキシ-フェニル)-ウレイド]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-[3-(3,4-
ジクロロ-フェニル)-ウレイド]-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-ピリジ
ン-3-イル-チオウレイド)-ヘキサン酸、

6-(3-ベンズヒドリル-チオウレイド)-2-(ジベンゾフラン
-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(3-ベンジル-チオウレイド)-2-(ジベンゾフラン-2-
スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(3-アダマンタン-1-イル-チオウレイド)-2-(ジベン
ゾフラン-2-スルホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-ナフタ
レン-2-イル-チオウレイド)-ヘキサン酸、

6-(3-アリル-ウレイド)-2-(ジベンゾフラン-2-スルホ
ニルアミノ)-ヘキサン酸、

6-(3-ベンジル-ウレイド)-2-(ジベンゾフラン-2-スル
ホニルアミノ)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-フェニ
ル-ウレイド)-ヘキサン酸、

2-(ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ)-6-(3-フェニ
ル-アクリロイルアミノ)-ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - フェニルアセチルアミノ-ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (3-フェニルプロピオニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - [2 - (4-クロロフェノキシ) - アセチルアミノ] - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - [2 - (2,4,6-トリイソプロピルフェニル) - アセチルアミノ] - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-フェニルブチリルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (4-フルオロベンゼンスルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (4-メトキシベンゼンスルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - (4-ブロモベンゼンスルホニルアミノ) - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - (2-アセチルアミノチアゾール-5-スルホニルアミノ) - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - (4-アセチルアミノベンゼンスルホニルアミノ) - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - ベンゼンスルホニルアミノ - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - (ブタン-1-スルホニルアミノ) - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (ナフタレン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (ナフタレン-1-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (2-フェニル-エテンスルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - イソブトキシカルボニルアミノ - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 6 - (9H-フルオレン-9-イルメトキシカルボニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - (アダマンタン-1-イルオキシカルボニルアミノ) - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

6 - アリルオキシカルボニルアミノ - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (2-ピリジン-4-イル-エチルカルバモイル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (2-メチル-ブチルカルバモイル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (2-ヒドロキシ-プロピルカルバモイル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (4-プロピル-フェニルカルバモイル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (2,2-ジフェニル-エチルカルバモイル) - 酪酸、

4-シクロプロピルカルバモイル - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - [(チオフェン-2-イルメチル) - カルバモイル] - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (1,3-ジメチル-ブチルカルバモイル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (2-ジメチルアミノ-エチルカルバモイル) - 酪酸、

4 - ベンジルカルバモイル - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (2-チオフエン-2-イル-エチルカルバモイル) - 酪酸、

4 - (4-クロロフェニルカルバモイル) - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (4-フェニル-ブチルカルバモイル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - [2 - (1-メチル-1H-ピロール-2-イル) - エチルカルバモイル] - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - (2-メトキシ-ベンジルカルバモイル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - [(ナフタレン-1-イルメチル) - カルバモイル] - 酪酸、

6 - ベンジルオキシカルボニルアミノ - 2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ヘキサン酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - ペンタン二酸 1-tert-ブチル エステル、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - フェネチルカルバモイル - 酪酸、

2 - (ジベンゾフラン-2-スルホニルアミノ) - 4 - オキソ - 4 - (4-プロピルフェニル) - 酪酸、

2 - (ジベンゾチオフェン - 2 - スルホニルアミノ) - 4 - フェニル
- 酪酸、

3 - (4 - tert - ブトキシ - フェニル) - 2 - (ジベンゾフラン - 2
- スルホニルアミノ) - プロピオン酸、

3 - ベンジルオキシ - 2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ)
- プロピオン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 5 - (トルエン -
4 - スルホニルアミノ) - ペンタン酸、

5 - ベンジルオキシカルボニルアミノ - 2 - (ジベンゾフラン - 2 -
スルホニルアミノ) - ペンタン酸、

2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 酪酸、

3 - tert - ブトキシ - 2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ)
- プロピオン酸、

(ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - フェニル - 酢酸、または
2 - (ジベンゾフラン - 2 - スルホニルアミノ) - 3 - (4 - フルオ
ロフェニル) - プロピオン酸

である請求項 1 に記載の化合物。